

2026年7月10日

鹿児島大学病院 産科婦人科 で

流産後子宮内遺残物（RPOC）を受けた患者さんへ

（ 生命科学・医学系研究に関する情報 ）

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた診療情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、研究内容の情報を公開しております。

【研究課題名】

当院における流産後の RPOC への対応

【研究の目的】

流産後に認められる子宮内遺残物（retained products of conception: RPOC）は、自然消失する場合もある一方、出血や感染の原因となることがあります。

近年、手術療法に加えて EP 療法による保存的治療が行われていますが、その適応や治療回数の予測因子については十分に明らかではありません。

本研究では、

- RPOC に対する EP 療法の有効性
- カラードプラ超音波による血流評価（Gutenberg 分類など）と治療回数に関連

を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

本研究は、診療録情報を用いた後ろ向き観察研究です。

当院において流産後 RPOC と診断された症例を対象に、以下の項目を収集・

解析します。

- 患者背景（年齢、妊娠週数など）
- RPOC の画像所見（特にドプラ血流評価）
- 治療内容（EP 療法の有無、回数、他治療）
- 治療転帰（消失までの期間、手術移行の有無など）

血流評価と治療回数の関連性について統計学的解析を行います。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2027年3月31日

【対象となる患者さん】

2018年1月1日から2026年3月31日までに、鹿児島大学病院産科婦人科で流産後 RPOC と診断され治療を受けた患者さん

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

- 年齢、既往歴、妊娠歴
- 流産週数
- 超音波所見（血流評価含む）
- 血液検査（必要に応じて）
- 治療内容（EP 療法、手術療法）
- 治療経過および転帰

※新たな試料採取は行いません

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

鹿児島大学病院 石塚 賢治

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院

周産母子センター 助教 濱田 朋紀

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学病院長 石塚 賢治

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生殖病態生理学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

鹿児島大学病院 周産母子センター

濱田 朋紀

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話 099-275-5423 FAX 099-265-0507